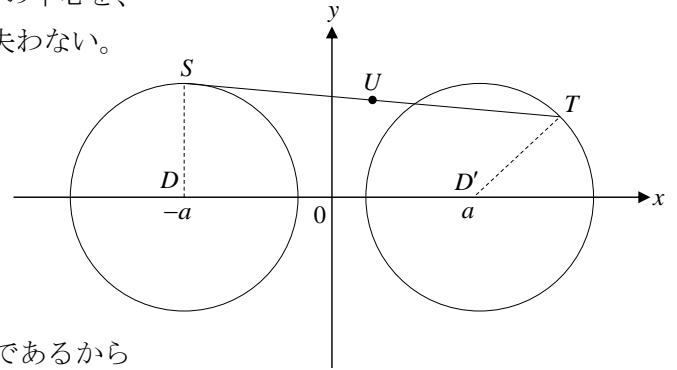


(1)

座標平面において、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle A'B'C'$ の外接円 C_1 、 C_2 の中心を、それぞれ $D(-a, 0)$ 、 $D'(a, 0)$ ($a > 0$) としても、一般性を失わない。このとき、 M は原点 $O(0, 0)$ に一致する。



C_1 上、 C_2 上の任意の点を、それぞれ $S(-a + \cos\alpha, \sin\alpha)$ 、 $T(a + \cos\beta, \sin\beta)$ とおく。ただし、 $0 \leq \alpha < 2\pi$ 、 $0 \leq \beta < 2\pi$ とする。

このとき、 ST の中点は $U\left(\frac{\cos\alpha + \cos\beta}{2}, \frac{\sin\alpha + \sin\beta}{2}\right)$ であるから

$$\begin{aligned} MU^2 = OU^2 &= \frac{1}{4}(\cos^2\alpha + 2\cos\alpha\cos\beta + \cos^2\beta + \sin^2\alpha + 2\sin\alpha\sin\beta + \sin^2\beta) \\ &= \frac{1}{4}\{2 + 2(\cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta)\} = \frac{1}{2}\{1 + \cos(\alpha - \beta)\} \end{aligned}$$

$\cos(\alpha - \beta) \leq 1$ であるから $MU^2 \leq 1 \quad \therefore MU \leq 1$

したがって、任意の S, T について、その中点 U は、 $MU \leq 1$ を満たすから、題意は示された。(証明終)

(2)

(1) より、 P, Q, R の存在範囲は、 M を中心とした半径 1 の円の、周上および内部であるから、 $\triangle PQR$ が鋭角三角形で、外接円の半径が 1 であれば、その外接円の中心は M である。(証明終)

$A(-a + \cos\alpha, \sin\alpha)$ 、 $A'(a + \cos\beta, \sin\beta)$ とおく。ただし、 $0 \leq \alpha < 2\pi$ 、 $0 \leq \beta < 2\pi$ とする。その中点 P が、 $MP = 1$ を満たすとき

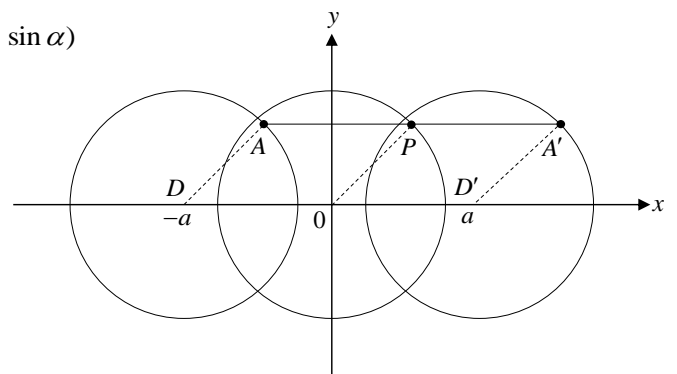
$$\cos(\alpha - \beta) = 1 \quad \therefore \alpha = \beta \quad \therefore \overrightarrow{DA} = \overrightarrow{D'A'} = \overrightarrow{MP} = (\cos\alpha, \sin\alpha)$$

同様に、 $\overrightarrow{DB} = \overrightarrow{D'B} = \overrightarrow{MQ}$ 、 $\overrightarrow{DC} = \overrightarrow{D'C} = \overrightarrow{MR}$ も示される。

これより、

$$\overrightarrow{AB} = \overrightarrow{A'B'} = \overrightarrow{PQ}, \quad \overrightarrow{BC} = \overrightarrow{B'C'} = \overrightarrow{QR}, \quad \overrightarrow{CA} = \overrightarrow{C'A'} = \overrightarrow{RP}$$

もわかる。



以上により、 $\triangle ABC$ 、 $\triangle A'B'C'$ 、 $\triangle PQR$ はすべて合同となる。(証明終)